

農場HACCPを導入してみませんか？

HACCPはHazard Analysis Critical Control Pointの頭文字をとったもので**危害要因分析（HA）必須管理点（CCP）**といわれるものです。農場HACCPは農場の飼養衛生管理にHACCPの考えを取り入れて、生産される畜産物の**安全性、生産性の向上**を図ります。全国では**348農場**、長野県では**10農場**（乳用・肉用牛1、肉用牛6、豚2、採卵鶏1）が認証農場となっています（令和6年2月15日時点）。

具体的な取り組みについて

危害要因の分析

原材料（導入畜、飼料、飲用水、薬品等）と作業工程を図式化し、**危害要因を明らかにする**

一般的衛生管理プログラムの確立

軽微な危害要因を管理するため、消毒や給餌等の**基本的な衛生管理の手順**を定める

HACCP計画の作成

重要な危害要因（抗菌剤や注射針の残留等）について**管理すべきポイント**とその**管理手段**を決め、監視する

検証と見直し

定期的に見直し、必要に応じ**取り組みの改善**を行う

Merit 1

危害要因（抗菌剤や注射針の残留等）を**管理可能**に



Merit 2

経営者や農場従事者の**衛生意識**が向上し、**事故率の低下**、**生産性向上**、**コスト削減**につながる



Merit 3

作業手順のマニュアル整備による**教育の効率化**



Merit 4

内部コミュニケーションが活発になり、**問題の共有化**・**作業理解の深まり**につながる



Merit 5

記録の整備によりクレームの**原因究明**が迅速になり、取引先への**信頼性が向上**する



農場HACCP認証を受けることにより**衛生的な農場としてアピール**することもできます。お気軽に家畜保健衛生所にご相談ください。